



テーマ

# 翔しよう

時を超えて、はばたく生命。いのち

So. fararato

第24回

# 地域伝統 芸能まつり

行山流舞川鹿子躍  
岩手県・一関市  
重松流祭ばやし  
埼玉県・所沢市  
下平井の鳳凰の舞  
東京都・日の出町  
大治太鼓  
愛知県・大治町

狂言「神鳴」(大藏流)  
出演：茂山七五三、茂山逸平 他  
新城の囃子曲持  
神奈川県・川崎市  
大元神楽  
島根県・江津市  
江戸火消しの梯子乗り  
東京都

開催日 令和6年3月3日(日) 開演 午後2時30分  
会場 NHKホール 東京都渋谷区 神南2-2-1  
応募方法 (全日 9:00~20:00)  
ハローダイヤル 050-5541-8600  
インターネット 地域伝統芸能まつり [検索](#)

主催：地域伝統芸能まつり実行委員会 一般財団法人 地域創造  
後援：総務省 文化庁 観光庁 NHK 協力：名鉄観光サービス株式会社

入場無料

※応募多数の場合は抽選



※都合により演目は変更する場合があります。ご了承ください。

# 第24回 地域伝統芸能まつり

テーマ **翔** しょう いの時を超えて、はばたく生命。

会場 **NHKホール**  
(東京都渋谷区)

募集人員**2500名**  
**入場無料**  
応募抽選により

「地域伝統芸能まつり」は、日本各地に脈々と受け継がれてきた芸能を保存・伝承し、地域の活性化をはかる取り組みです。各地の伝統ある祭事や古典芸能が一堂に会し、個性を競い合う新たな“祭”が、日本文化の素晴らしさを再発見し、郷土に親しみと誇りをもつ契機となることを願っています。

24回目となる今回のテーマは「翔(しょう)」。

おおらかに、力強く、天高く飛翔する鳥や龍のイメージは、私たちのあこがれであり、ともにありたいと願う神仏の姿そのものではないでしょうか。そんな存在の力強さを感じる多彩なまつりや芸能を楽しみ、その歴史や地域性的一端に触れていただきたいと思います。

地域伝統芸能まつり  
実行委員会  
会長  
**小松和彦**



表面デザインコンセプト 「翔一時を超えて、はばたく生命。」 い ち の **山本容子**(銅版画家)

竹取物語の「竹の中から生まれた子供」という発想は、この物語に、自然の摂理を超えた驚きの話だという格を与えています。竹の中から生まれた女の子は、自然の音を守り唄いして空間に浮かぶように眠っています。鳥や動物の鳴き声に四季を感じられる感性は、虎を驚かせる力となるかもしれません。このことに、物語を通して強い憧れを抱きました。

## 1 行山流舞川鹿子躍

岩手県・一関市

1700年代初頭に宮城県南三陸町から一関市舞川に伝わりました。鹿角がついた頭をかぶり、自ら唄い、太鼓を打ち鳴らし、背負った「ササラ」を揺らしながら勇壮に踊られるもので、五穀豊稔、祖霊供養といった祈りが込められています。40年ほど続く地元小、中学校への育成活動と共に、女性や地域外からの参加にも早くから門戸を開いたことで、若い継承者も育っています。出身者を中心に立ち上げられた「東京鹿踊」との連携や海外公演、体験受け入れなど様々な取組みを行っています。岩手県指定無形民俗文化財。

## 4 大治太鼓

愛知県・大治町

大治太鼓は江戸時代より尾張南西部に伝わる神楽太鼓を基としています。昭和時代には、各町の社務所で練習し秋祭りなどで披露していたようです。徐々に後継者不足となる中、末永く伝えていこうという住民の熱意と大治町の意向が重なり、平成4(1992)年に大治太鼓保存会が創られ、後継者の育成に努めています。太鼓の特徴としては、非常に甲高い音色で細かなリズムを高速で打ち鳴らします。また座って打つ打法はバチを回転させたり飛ばしたりと曲芸性の高い奏法となっています。近年では、様々な種類の太鼓を使用し組み太鼓も取り入れ、さらに演奏を進化させています。

## 7 大元神楽

島根県・江津市

大元神楽は古くから島根県の西部に広くあった大元信仰に由来し石見神楽の原型とされています。一種の農耕神楽的なものとして村々に祀られる集落の神「大元神」を祀って、6年に一度夜を徹して行う式年神楽です。大元神楽特有の演目や石見神楽と同様な演目があり、ゆったりとした六調子で舞います。氏子の舞だけではなく、神社の神職によって舞われる神事舞が受け継がれており、この中でも「託舞」と呼ばれる神がかり託宣の古儀を伝承されている事が一般の神楽に見られない大きな特徴です。昭和54(1979)年に国の重要無形民俗文化財、令和元(2019)年に日本遺産へそれぞれ指定・認定されました。

## 2 重松流祭ばやし

埼玉県・所沢市

重松流祭ばやしは、天保元(1830)年、所沢生まれの古谷重松が編み出した囃子の流派です。重松は行商のために近郷近在を歩き、その先で囃子を伝授したと伝わり、幕末から明治期以降、所沢を中心として多摩地域にかけて広まりました。重松流の特徴は、テンポの良さと屋台囃子の小太鼓二つ(地と絡み)の掛け合いにあるといわれ、囃子に合わせて、三番叟・天狐・獅子・おかめ・ひよっこ・藤助・外道など、様々な踊りが繰り出されます。現在は、所沢市重松流祭囃子保存会の皆さんなどによって保存伝承されています。

## 5 狂言「神鳴」(大蔵流)

出演：茂山七五三 茂山逸平 他

一天にわかにかき曇り、都から東へと下るヤブ医者目の前に、轟音とともに空から落ちてきたのはナント!あの神鳴様ではありませんか。腰を打って痛がる神鳴に、手当をするヤブ医者。の手には大きな針が握られています。さて、どうなりますか。

## 3 下平井の鳳凰の舞

東京都・日の出町

下平井の鳳凰の舞は、奴の舞と、鳳凰の舞の二庭で構成される、全国的にもあまり類例のない貴重な民俗芸能です。残念ながらはっきりとした伝承由来の文献は残っていませんが、雨乞いや悪疫退散の舞として奉納されたそうです。かつては春日神社の祭礼に限らず、度々行われていたが、明治頃に途絶えてしまいました。昭和初期に復活し、現在では地域住民による保存会の手によって大切に伝承されています。平成18(2006)年に国の重要無形民俗文化財に指定され、令和4(2022)年に「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

## 6 新城の囃子曲持

神奈川県・川崎市

囃子曲持はお囃子の調べとともに、米俵や脚立、桶などを使って曲芸を行う民俗芸能です。新城の囃子と曲持は共に明治の初め頃に伝わったとされ、個々に伝承してきた囃子連中と曲持連中が昭和48(1973)年に一体となり、保存会が結成されました。鎌倉囃子の系統を引く軽快なお囃子に乘せて行われる曲持は、約55kgの俵を持ち上げる基本形から、約25kgの俵を脚立や桶などの道具で受け取るなど、他に類を見ない力強い芸が特徴です。昭和52(1977)年に神奈川県民俗芸能50選に選ばれ、昭和53(1978)年に川崎市重要習俗芸芸(川崎市指定文化財)に指定されています。

## 8 江戸火消しの梯子乗り

東京都

消防出初式は、年明けの恒例行事として各地で行われています。今日では様々な消防演技が披露される中であって、「纏振り」や「梯子乗り」、「木遣歌」は、江戸時代の町火消の心意気を今に伝えています。梯子乗りの起源は定かではありませんが、万治2(1659)年1月4日に、時の老中稲葉伊予守正則が、定火消総勢四隊を率いて上野東照宮前で顔見世の儀式「出初」を行い、氣勢を上げたことに由来すると伝えられています。現在、各自自治体の消防出初式において演じられる梯子乗りは、消防職員や消防団員が行っていますが、東京消防出初式では、「江戸消防記念会」がその技を保存、伝承しています。

※演目は今後の状況により変更する場合があります。

「観覧申込方法」 入場は無料です。下記URLまたは、QRコード画面より申込フォームへお進みください。

<https://www.jafra.or.jp/project/tradition/matsuri/2024/>

(インターネットでの応募となります。郵便往復はがきでの応募はできません。)

※または、「地域伝統芸能まつり」で検索してください。

地域伝統芸能まつり

検索



・同一メールアドレスでの重複申し込みはできません。また、同一電話番号で複数お申込みいただいた場合、1件として取り扱います。・ご応募いただいた方には、受付確認メールをお送りいたします。・入力内容に不備があった場合は、無効となりますのでご注意ください。・応募多数の場合は抽選となります。当落結果は、2月上旬頃に申込者全員にメールにて通知いたします。・当選者には、座席指定券を公演日の約1週間前を目途に発送いたします。・ご来場は、申込時に登録された方に限らせていただきます。それ以外の方へのチケットの譲渡はお断りいたします。

応募締切：令和6年1月28日(日)午後11時59分

お問合せ：ハローダイヤル 050-5541-8600 9:00~20:00(全日)

※ご応募いただいたお客様の個人情報は、本フェスティバルの抽選、当落告知および個人を特定しない統計資料の作成の目的で使用させていただきます。お客様の事前の承諾なく個人情報を業務委託先以外の第三者に開示、漏洩いたしません。

主催：地域伝統芸能まつり実行委員会、一般財団法人 地域創造

後援：総務省、文化庁、観光庁、NHK 協力：名鉄観光サービス(株)

※荒天などの影響により公演を中止する場合があります。最新の開催情報は、地域伝統芸能まつりのホームページなどでお知らせいたします。  
※発熱などの体調に不安がある方は、ご来場をお控えいただくようお願いいたします。  
※ご来場時は手洗いや咳エチケットにご協力ください。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。